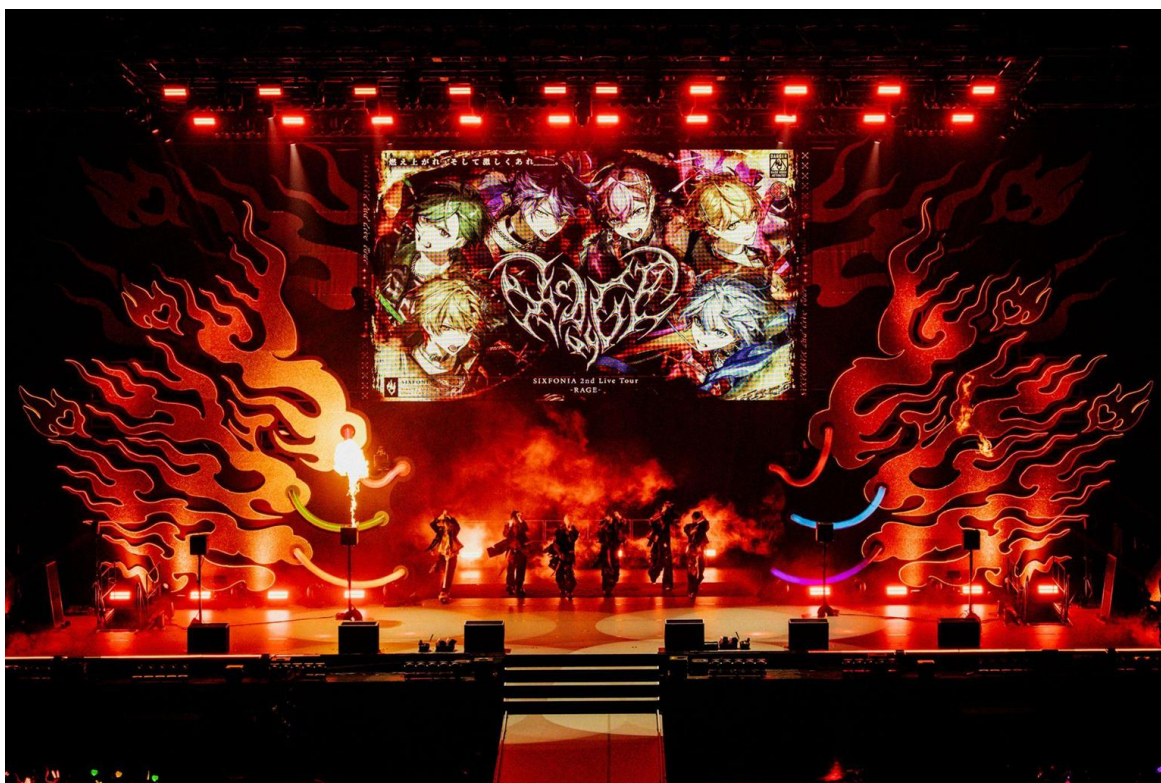


2.5次元タレントグループ「シクフォニ」、 史上最大規模約5万人動員の2ndツアー『RAGE』完走！ ファイナルはKアリーナ横浜2DAYSで“覚悟のステージ” 福岡から3都市6公演、怒涛の進化を遂げたツアーファイナルで圧巻のパフォーマンス

2.5次元タレントグループ「シクフォニ」は、4月の福岡公演を皮切りに始まった2ndライブツアー『SIXFONIA 2nd Live Tour -RAGE-』のファイナル公演を5月5日（火祝）・6日（水休）の2日間にわたり、世界最大級のアリーナ・Kアリーナ横浜にて開催いたしました。全国3都市・全6公演で実施された本ツアーは、シクフォニ史上最大規模となるツアー総動員数約5万人を記録。ファイナルの舞台となったKアリーナ横浜では、会場を埋め尽くしたシクファミ（ファンの呼称）の熱狂とともに、6人の“今”と“覚悟”を刻みつける圧巻のステージが繰り広げられ、大盛況のうちに幕を閉じました。



ツアータイトル「RAGE」が示す通り、本公演ではシクフォニが抱える情熱、衝動、そして“自分たちの手で未来を切り拓く”という強い意志を、歌・ダンス・映像演出のすべてを通して表現。代表曲からソロ楽曲、ユニットパフォーマンスまで、多彩な演出と圧倒的な表現力で観客を魅了し、グループとしてのさらなる進化と可能性を証明するライブとなりました。以下からは、音楽ライターである杉江優花氏による5/5（火祝）Kアリーナ横浜公演Day1公演のライブレポートをお届けいたします。

■5/5（火祝）Kアリーナ横浜公演『SIXFONIA 2nd Live Tour -RAGE-』 ライブレポート

2.5次元タレントグループのシクフォニが、2026年4月から5月にかけて『SIXFONIA 2nd Live Tour -RAGE-』と題した2度目のライブツアー、3都市を巡る6公演を開催。“RAGE=激しい怒り、猛威”というタイトルが示すように、6人の内包する熱情が解き放たれたそこには、自分たちの手で道を切り拓く、絶対に目指す場所に辿り着くという闘志と、さらなる可能性が満ちていた。ここでは、5月5日と6日に神奈川・Kアリーナ横浜で行われた2デイズ公演のうち、1日目の模様をお伝えする。

声優・岡本信彦氏のナレーションで始まる幕間映像では、6人の3D体が椅子取りバトルを繰り広げることに。メンバー同士足を引っ張り合い、椅子を取っても罰ゲームが押し寄せるカオスな泥仕合（!?)は、シクフォニの配信者としての強さが際立つものでもあったように思う。

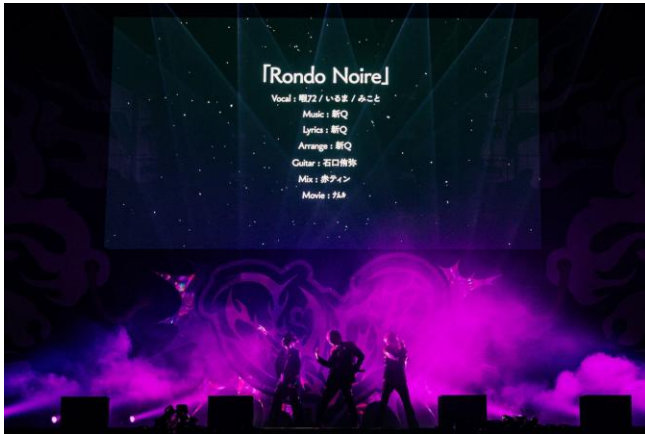
「ありきたり」で、歌声もステップも軽やかに「今日は全員こさめのことを好きにさせるからね!」を有言実行した名前にちなんだ傘やサメなどがモチーフとされた衣装の雨乃こさめ。「1HOLE」で、センターステージからメインステージまで広く使い、歌でもダンスでも雄々しさを貫いたミリタリー衣装のすち。「夢幻恋歌」で、和傘を手にした舞、澄んだハイトーンで儂くも一途な想いを伝えた和風衣装のLAN。それぞれに自らが作詞を手掛けたソロ曲に、個性がにじむ。

また、ジェントルなスーツ衣装の暇72、いるま、みことによる“低音組”は、「Rondo Noire」で愛憎を表現。甘美なウィスパーボイスや色気漂うダンスは、反則級に刺激的だ。

ジェントル衣装でメンバー全員が再びそろい、この世ならざる場所への扉を開いたのは「六幻」。「命辛々」では丁寧につなぎ、重なる歌声の美しさで幽玄な世界へとといざなって、ライブが進むほどに6人の表現力と表現欲に驚かされる。



蛭に自分たちをなぞらえ、<君> = シクファミとの絆を胸に何度だって立ち上がる、決意を込めた「FireFly」をエモーショナルに歌ったのは雨乃こさめ、LAN、すちによる“高音組”。2組に分かれてみれば、目が覚めるようなコントラストだ。



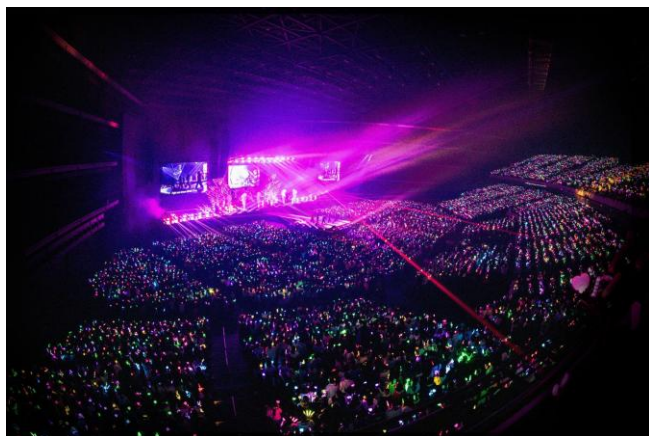
「Willion」で高いラップスキル&ダンススキルで挑発し、不敵な笑い声を響かせたモードストリート系衣装のいるま。「希死遠慮」で、椅子に腰かけて歌うアンニュイモードから一転、椅子を蹴り飛ばし、ラストの「またね」も強烈な印象を残した、自身の名前が散りばめられたストリート系衣装の眠72。「バグって好き」で、後ろ向きからの振り返り笑顔、全力ジャンプ、真っ直ぐなく好き>と、衣装も含めすべてが王道アイドルだったみこと。先の3人と同じく、それらソロ曲もまた、各自が作詞を手掛けたもの。多彩で多才なメンバーが集えば最強グループになる、ということをシクフォニは証明している。

黒にゴールドを配したゴージャスなマント衣装にお召し替えした6人。「この衣装を着て出てきたってことはわかるよね!？」と言っているまがタイトルコールしたのは、1stオリジナルソング「JOKER×JOK3R」。マントをひるがしながらの華麗なターン、刹那のきらめき。彼らにとっての“始まりの曲”は、ライブを重ねるたびに強度と輝きを増している。

本編ラストは、「1ST OF ACE」。スパークラーの火花が噴き上がるステージで、6人の全身全霊の歌とダンス、みことの「どんなに時間がかかっても頂点掴むから!」という叫びが明示したのは、不退転の覚悟だ。

メンバーがアリーナ客席後方に登場、「Ready!!!!!!!!!!」を歌いながら客席通路を歩いてセンターステージへと向かうというまさかのサプライズで始まったアンコール。いるまが「初めて披露したあの日のことを忘れません。今日も忘れられない日にしようぜ!」と告げ、メンバー同士肩を組んだり微笑み合ったりしながら歌った「Desperate Track」。シクフォニ史上最大規模の会場でライブができていることの感動、シクファミへの愛と感謝、東京ドームに立つという誓い。胸の内を6人それぞれが明かして、「BReaKiNG SiX!!!!!!!!!!」へ。このツアーで初披露とは思えない大きなコール&レスポンスがもたらしたのは、幸せな一体感だった。

そして。「もう1曲、俺たちにとって忘れられない曲があるよね!？」というLANがタイトルコールしたのは、「2 many fighterz」。メンバーそれぞれが自分の人生、想いを重ねるフレーズ、気持ちひとつに束ねる歌声、誇り高く拳を突き上げる姿、<辞めなけりゃ負けられない!!!!!!>という信念。翌日の千秋楽も、きっと未来を明るく照らす希望の光で満たしてくれたことだろう。シクフォニが掲げた“RAGE”とは、生き様そのものを刻みつける衝動。心を燃やしすべての経験を糧に夢を追う6人は、なにがあろうとその歩みを止めない。



文：杉江優花

今回のツアーでは、各会場の外にも、シクフォニライブでは恒例となったユニークなデザインのアドトラックが登場いたしました。さらに、各メンバーの個性あふれるメッセージが掲げられたのぼりや、本公演のキービジュアルを使用した等身大パネルも設置され、来場したファンの皆さまが写真撮影を楽しみながら、開演前から期待感を高められる演出が各所に散りばめられていました。

そして、Kアリーナ横浜公演2日目・千秋楽の終演後には、会場スクリーンに突如“謎のQRコード”が映し出されるサプライズ演出も実施。同じQRコードが掲載された張り紙がロビーに掲出されたほか、来場者へ配布も行われるなど、ファンの皆さまにとって最後の最後まで目が離せない特別なプレゼントとなりました。



ライブ本編だけに留まらず、会場全体、そして終演後までもエンターテインメントとして楽しませてくれる——それもまた、シクフォニのライブならではの魅力です。

ライブ本編だけに留まらず、会場全体、そして終演後までもエンターテインメントとして楽しんでいただけるよう、細部にまでこだわり抜いた演出の数々をお届けいたしました。そこからも、シクフォニが大切にしている挑戦心とエンターテインメントへの情熱が感じられる内容となりました。今後もさらなる進化を重ねながら、多彩な活動を通じて新たな魅力をお届けしてまいります。今後のシクフォニの展開に、ぜひご期待ください。

Press Release

シクフォニ広報事務局



■SIXFONIA 2nd Live Tour -RAGE- @Kアリーナ横浜 2026年5月5日(火祝)

SETLIST

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 01. RAGE | 15. バグって好き (みことソロ) |
| 02. d0gmaq | 16. JOKER×JOK3R |
| 03. Dive II World | 17. 1ST OF ACE |
| 04. Lodious Takt | -Encore- |
| 05. オシカツ? | 18. Ready!!!!!!! |
| 06. ありきたり (雨乃こさめソロ) | 19. Desperate Track |
| 07. 1HOLE (すちソロ) | 20. BReaKiNG SiX!!!!!!! |
| 08. 夢幻恋歌 (LANソロ) | 21. 2 many fighterz |
| 09. Rondo Noire (暇72、いるま、みこと) | |
| 10. 六幻 | |
| 11. 命辛々 | |
| 12. FireFly (雨乃こさめ、LAN、すち) | |
| 13. Willion (いるまソロ) | |
| 14. 希死遠慮 (暇72ソロ) | |

■シクフォニとは



超大型オーディションを潜り抜けた最強の6人による2.5次元タレントグループ。2022年8月、オリジナル曲「JOKER×JOK3R」を引っ提げて衝撃的なデビューを飾る。その音楽性や企画力の高さを武器に、様々なオリジナルソングや、歌や声を使ったチャレンジ企画動画、「歌ってみた」と呼ばれるカバーソングなどの投稿をメインに活動している。チャンネル登録者数は124万人を超えており、急速に人気を集め、勢力を拡大している新進気鋭の6人組。その勢いは留まることを知らない。

2025年10月26日(日)にはグループ初となる3Dライブをシクフォニ公式YouTubeチャンネルにて全世界全編無料配信し、アーカイブにて配信中。さらには、3Dライブとリンクした生身ライブを11月に大阪・おおきにアリーナ舞洲にて2公演開催し、12月には東京・LaLa arena TOKYO-BAYにて2公演を開催。2026年春にはシクフォニ史上最大規模となる会場Kアリーナ横浜公演を含む2ndライブツアーの開催。総動員数50,000人を記録し大盛況の後に終幕。

<メンバー> 名前横の括弧内は読み方
(上段左から) LAN (らん)、すち、みこと
(下段左から) 暇72 (ひまなつ)、雨乃こさめ (あめのこさめ)、いるま

▼シクフォニ公式X

https://x.com/sixfonia_info

▼シクフォニ公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@sixfonia>

▼シクフォニ公式TikTok

https://www.tiktok.com/@sixfonia_info

▼シクフォニ公式Instagram

https://www.instagram.com/sixfonia_info/